

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学総合内科・総合診療医センターでは、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 1月

福島県立医科大学 総合内科・総合診療医センター

相馬 俊介

■ 研究課題名

高齢の入院患者における尿カテーテルの不適正使用と入院関連機能障害：後方視的コホート研究

■ 研究期間

2026年1月 ～ 2028年3月

■ 研究の目的・意義

研究の目的は入院中に行われる尿道留置カテーテルの不適切使用が高齢者の入院に関連した日常生活動作の低下に関与しているかを明らかにすることであり、研究の意義は予防策として尿道留置カテーテルの適正使用を推進することが有用かどうかを検証することです。

■ 研究対象となる方

研究課題名「急性期病院に入院する高齢患者の特徴における実態調査（整理番号；REC2024-148）」にて電子カルテ情報を収集して作成されたデータベースを二次利用する。

すなわち 2022年4月1日から2028年3月31日に満65歳以上で4病院（福島県立医科大学付属病院、福島県立医科大学会津医療センター、公立藤田病院、聖マリアンナ医科大学病院）に入院した方が対象です。

■ 研究の方法

- 研究課題名「急性期病院に入院する高齢患者の特徴における実態調査（整理番号；REC2024-148）」にて電子カルテ情報を収集して作成されたデータベースの二次利用となります。
- 4病院（福島県立医科大学付属病院、福島県立医科大学会津医療センター、公立藤田病院、聖マリアンナ医科大学病院）のデータベースから入院主病名コード、併存疾患の病名コード、入院日数、看護必要度、年齢、性別、身長、体重、日常生活動作のスコア（入院時・退院時）、入院後の転帰、入院後の合併症としてせん妄・褥瘡・転倒・尿失禁、手術された方は術式や麻

酔に要した時間、尿道留置カテーテルの挿入、抜去の日付を抽出します。

- ・上記の個人情報から尿道留置カテーテルの使用が入院中の日常生活動作のスコアの低下に関連しているかどうかを統計学的手法を用いて検証します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年2月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学総合内科・総合診療医センターであり、研究責任者は総合内科・総合診療医センターの相馬俊介です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学総合内科・総合診療医センターで利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

なし

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学 総合内科・総合診療医センター 担当：相馬俊介

電話：024-547-1933

e-mail：shuns14@fmu.ac.jp